感染予防学

講 師	田 中 慎 彦	実施時期 単 位 数	第２学年後期 １単位　（１５時間）	実務経験	○
一般目標（GIO）	専門的な歯科診療の補助における医療安全管理と消毒・滅菌に必要な基礎的知識、技術および態度を習得する。				
授 業 概 要	すべての臨床業務のベースにある「感染予防」についてその概念・実際の取り組み法について理解し、 安全な医療を提供できる知識と能力を取得することを目的とする。				
学 習 方 法	講義・実習				
成績評価の方法	定期試験90％、小テスト、出席状況10％による総合評価				
教 科 書	全国歯科衛生士教育協議会(監) 最新「歯科診療補助論 第2版」 医歯薬出版				
履修上の注意	医療現場で基礎となる非常に重要な項目です。 教科書と参考文献をしっかりと読み理解を深めてください。				
参 考 書	ICHG研究会(編) 新歯科医療における感染予防対策と滅菌・消毒・洗浄　医歯薬出版 佐藤田鶴子(監)最新　歯科医療における院内感染対策 CDCガイドライン　永末書店 日本歯科医学会(監) エビデンスに基づく一般歯科医療における院内感染対策　永末書店				

授業計画

No.	授業項目	到達目標（SBOs）
1	医療安全	医療安全の概念とその対策を説明できる。
2	感染予防対策の基本と実際	スタンダードプレコーションを理解し、具体的対策を説明できる。
3	治療用器具の滅菌・消毒・洗浄の基本	滅菌・消毒・洗浄の定義が説明できる。
4	治療用器具の滅菌・消毒・洗浄の実際	滅菌・消毒・洗浄の方法について説明、消毒薬、各種滅菌機器、器具の準備、 操作、取り扱い管理ができる。
5	廃棄物の処理	医療廃棄物の分類と分別を説明できる。
6	医療従事者の感染予防対策	感染事故の予防法や事故時の対応を判断することができる。
7	ガウンテクニックと手洗い実習	手指消毒やガウン、グローブの装着・脱着が実施できる。
8	まとめ、小テスト	感染予防学についての理解度を評価することができる。